

(様式4)

平成28年11月16日

平成28年度 第2回 大阪市立夕陽丘中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立夕陽丘中学校
校 園 長 名 福 山 英 利

日 時	平成28年11月14日 (月)	
場 所	大阪市立夕陽丘中学校 多目的室	
出席者	委員	川村光 (委員長)、町頭義朗 (委員)、佐伯久徳 (委員)、和久易子 (委員)、澤井宏幸 (委員)
	校 園	福山英利 (校長)、吉次憲保 (教頭)、小松和樹 (首席、生徒指導主事)、 渡邊崇之 (教務主任)、西山健太郎 (生活指導部長)
	区役所	加守田眞志 (窓口サービス課課長)
議題	(1)運営に関する計画 (中間評価) について (2)「全国学力・学習状況調査」について (3)協議・意見交換	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 自己評価及び取組内容に関して理解を得た。	○【視点 学力向上】で進捗状況をCと評価しているが、年度目標に応じて、着実に実施しているのでBに改善した方がよいという意見が多く、評価を改善した。 ○【視点 道徳心・社会性の育成】の取組内容③で進捗状況をBと評価しているが、ボランティア清掃の参加数や生徒会の市立学校園児童生徒表彰の受賞から、Aに改善した方がよいという意見が多く、評価を改善した。
	(2) 分析結果から、成果と課題について理解を得た。	○3年生の特徴として ・学習の重要性は認識している。 ・勉強はできるようになりたいと思っている (特に数学) ・生徒の学力は受験に対してであり、将来必要な力を養うことが重要であり、授業改善を図っていくことが課題である。 ・少数であるが、不安定な気持を持った生徒や楽しくないと思っている生徒がいるので、その対応が必要である。
(3) 〈協議・意見交換〉 ・学校安全ルール(案)について ・道徳について ・給食について	○現状においては配布する必要はないという意見が大勢をしめた。 ○H31年度から教科になるため、研究を始めている。本校の教員は前向きで意識が高く、全教員が授業を実践している。 ○全市の中学校で親子給食方式を順次実施していく予定である。	
協議資料	平成28年度 運営に関する計画・自己評価 (中間評価) 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 夕陽丘中学校における 平成28年度全国学力・学習状況調査結果からわかること 学校安全ルール (案)	
	傍聴者[1]名	
	天王寺区役所 サービス窓口課課長	